

果樹生育情報 6月号

令和6年6月18日
栗原農業改良普及センター

〈りんごの生育状況等〉

表1 生育状況(6月10日調査)

		金成小堤	金成末野	高清水福塚
タテ径	本年(mm)	32.4	35.3	31.4
	平年(mm)	28.7	29.4	28.8
	平年比(%)	112.9	118.8	108.7
ヨコ径	本年(mm)	33.3	35.4	32.6
	平年(mm)	27.6	27.3	26.4
	平年比(%)	120.7	127.7	122.0

6月10日現在のりんご(ふじ)の果実肥大は、120~127%(ヨコ径)と平年を大幅に上回っています。

調査園地では荒摘果が終了していましたが、今年は霜害の影響もなく結実が良好で着果数が多い状況なので、摘果作業が遅れないようにしましょう。

〈病害虫発生状況〉

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第3号(令和6年6月10日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	多い	・巡回調査の結果、新梢葉における発生地点率及び発病葉率は平年より高かった。(/ +) ・高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高く(/ +)、降水量はほぼ平年並と予報されている。(/ ±)
モモシクイガ	やや多い	・前年の発生量が平年よりやや多かったことから、越冬量は平年よりやや多いと推測される。(/ +) ・20~25℃の気温が成虫の産卵に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/ +)
キンモンホソガ	やや多い	・巡回調査の結果、新梢葉における発生地点率は平年よりやや高く、被害葉率は平年並だった。(/ ± ~ +) ・20~25℃の気温が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。(/ +)

管内では目立った病害虫は確認されていませんが、仙台管区气象台による向こう1か月(6月15日から7月14日)の天候予報によると、『暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間の前半は、かなり高くなる可能性があります。また、天候は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう』との予報が出ています。

梅雨入りの発表はまだですが、6月下旬頃からは、病害虫の好適発生条件である「高温多湿」が続く予報となっていますので、前述の病害虫発生状況を参考にしながら各自園地を観察し、適時適切な防除を心がけましょう。また、散布間隔を空けないよう防除を徹底しましょう。

天気予報を確認し、散布予定日が降雨の時は、前日等に散布を繰り上げる「雨前散布」を心がけましょう。

スピードスプレーヤの防除では低速による全列走行とし、薬液のかかりにくい部分は、補完散布をするとともに、不要な徒長枝は整理しましょう。

農薬危害防止運動を実施中！

宮城県では、6月1日から8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適正使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。

- ① 適切な防護装備の着用を徹底しましょう
- ② 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理をしましょう
- ③ 住宅地等で農薬を使用する際には、周辺への配慮及び飛散防止対策をしましょう
- ④ 農薬の保管管理を徹底しましょう
- ⑤ 農薬容器のラベルをよく読みましょう

◇ 万一、身体に異常を感じたら

農薬の中毒症状は多種多様で、嘔吐、下痢、腹痛、頭痛、かぶれ等があります。

散布中や散布後、身体に異常を感じたら農薬の容器を持って、直ちに医師の診断を受けましょう。